

貉

MUJINA

小泉八雲 Lafcadio Hearn

青空文庫

東京の、赤坂への道に紀国坂という坂道がある——これは紀伊の国の坂という意である。何故それが紀伊の国の坂と呼ばれているのか、それは私の知らない事である。この坂の一方の側には昔からの深い極わめて広い濠ほりがあつて、それに添つて高い緑の堤が高く立ち、その上が庭地になつている、——道の他の側には皇居の長い宏大な塀が長くつづいている。街灯、人力車の時代以前にあつては、その辺は夜暗くなると非常に寂しかった。ためにおそく通る徒歩者は、日没後に、ひとりでこの紀国坂を登るよりは、むしろ幾哩も　り道をしたものである。

これは皆、その辺をよく歩いた貉のためである。

貉を見た最後の人は、約三十年前に死んだ京橋方面の年とつた商人であつた。当人の語つた話というのはこうである、――

この商人がある晩おそく紀国坂を急いで登つて行くと、ただひとり濠ほりの縁ふちに踞かがんで、ひどく泣いている女を見た。身を投げるのではないかと心配して、商人は足をとどめ、自分の力に及ぶだけの助力、もしくは慰藉を与えようとした。女は華奢な上品な人らしく、服装みなりも綺麗であつたし、それから髪は良家の若い娘のそれのように結ばれていた。――『お女中』と商人は女に近寄つて声をかけた――『お女中、そんなにお泣きなさるな！……何が困りなのか、私に仰しやい。その上でお助けをする道があれば、喜

んでお助け申しませう』（実際、男は自分の云った通りの事をする積りであつた。何となれば、この人は非常に深切な人であつたから。）しかし女は泣き続けていた——その長い一方の袖を以て商人に顔を隠して。『お女中』と出来る限りやさしく商人は再び云つた——『どうぞ、どうぞ、私の言葉を聴いて下さい！……ここは夜若い御婦人などの居るべき場処ではありません！ 御頼み申すから、お泣きなさるな！——どうしたら少しでも、お助けをする事が出来るのか、それを云つて下さい！』徐ろに女は起ち上つたが、商人には背中を向けていた。そしてその袖のうしろで呻き咽びつづけていた。商人はその手を軽く女の肩の上に置いて説き立てた——『お女中！——お女中！——お女中！——お女中！ 私言葉

をお聴きなさい。ただちよつとでいいから！……お女中！——お女中！』……するとそのお女中なるものは向きかえつた。そしてその袖を下に落とし、手で自分の顔を撫でた——見ると目も鼻も口もない——きやツと声をあげて商人は逃げ出した。

一目散に紀国坂をかけ登つた。自分の前はすべて真暗で何もな
い空虚であつた。振り返つてみる勇氣もなくて、ただひた走りに
走りつづけた挙句、ようよう遙か遠くに、螢火の光っているよう
に見える提灯を見つけて、その方に向つて行つた。それは道側
に屋台を下していた売り歩く蕎麦屋の提灯に過ぎない事が解つた。
しかしどんな明かりでも、どんな人間の仲間でも、以上のような
事に遇つた後には、結構であつた。商人は蕎麦売りの足下に身を

投げ倒して声をあげた『ああ！——ああ！！——ああ※』……

『これ！　これ！』と蕎麦屋はあらあらしく叫んだ『これ、どうしたんだ？　誰れかにやられたのか？』

『否、^{いや}——誰れにもやられたのではない』と相手は息を切らしながら云った——『ただ……ああ！——ああ！』……

『——ただおどかさされたのか？』と蕎麦売りはすげなく問うた

『盗賊^{どろぼう}にか？』

『盗賊^{どろぼう}ではない——盗賊^{どろぼう}ではない』とおじけた男は喘ぎなが

ら云った『私は見たのだ……女を見たのだ——濠^{ふち}の縁で——その女が私に見せたのだ……ああ！　何を見せたって、そりや云えな

い』……

『へえ！ その見せたものはこんなものだったか？』と蕎麦屋は自分の顔を撫でながら云った——それと共に、蕎麦売りの顔は卵のようになつた……そして同時に灯火は消えてしまった。

青空文庫情報

底本：「小泉八雲全集第八卷家庭版」第一書房

1937（昭和12）年1月15日発行

※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。

その際、以下の置き換えをおこないました。

「或る↓ある 此処↓ここ 此↓この 其↓その 只↓ただ 一寸↓ちよつと て居る↓ている 見る↓みる 若しくは↓もしくは
は」

入力：京都大学電子テキスト研究会入力班（山本貴之）

校正：京都大学電子テキスト研究会校正班（大久保ゆう）

2004年3月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

貉

MUJINA

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 小泉八雲 Lafcadio Hearn

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>